

永遠の真理

ETERNAL TRUTH



2022 年 12 月

「神のみかたちを回復する」「イエスは罪人をお受入れになる」「教会と残りの民 (Ⅳ)」

「ベイクド豆乳ヨーグルトケーキ」

永遠の真理

いま永遠の真理の土台の上に堅く立ちなさい。(3T p.45)

目次

今月の聖書勉強

「イエスは罪人をお受入れになる」 4

聖書の教え

朝のマナ

神のみかたちを回復する 7

Restoring the Image of God

現代の真理

「教会と残りの民 (IV)」 39

Good Way Series- 正道 -

力を得るための食事

「バイクド豆乳ヨーグルトケーキ」 44

レシピ

お話コーナー

「神が人を造られる (1)」 46

聖書物語

【正丸教会】

〒368-0071 埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保 1607-1
電話：0494-22-0465

【沖縄集会所】

〒905-2261 沖縄県名護市天仁屋 600-21
電話：0980-55-8136

発行日 2022 年 11 月 9 日

編集&発行 SDA 改革運動日本ミッション

〒368-0071 秩父郡横瀬町芦ヶ久保 1607-1

Illustrations: Sakusabe on Front page; Sermon View on
page 48

アクセス www.4angels.jp

メール sdarm.shomaru@gmail.com

Printed in Japan

キリストにつながることは

キリストとキリストの教会との関係は非常に密接でありまた神聖である。キリストは花婿であり、教会は花嫁である。キリストはかしらであり教会は身体である。したがってキリストにつながることはキリストの教会につながることになる。

教会は奉仕のために組織されているのであって、キリストに奉仕する人生の第一歩はまず教会につながることでなければならない。キリストに忠誠をつくす者には教会の義務を忠実に果たすことが要求される。これはわれわれの訓練の重要な一部分であって、救い主の生命の息の通っている教会にあっては、このことは直接に外部の世界に対する働きに通じている。…

クリスチャンの奉仕隊が組織されるならば、その協力は助けとなり励ましとなるであろう。…

知ることによって同情心が生じ、同情心はまた効果的な奉仕の源泉となる。…彼らがこの働きに心をそそぎ、学びつづけるときに、キリストは彼らをキリストのために働くのにふさわしい者としてくださるのである。(教育 317-319)

キリストに対する愛と忠誠はすべての真の奉仕の源泉である。キリストの愛に触れた人の心の中には、キリストのために働きたいという希望が生まれる。この希望を力づけ正しく導かなければならない。家庭に近所に、学校に、貧しい人や苦しんでいる人や無力な人がいるなら、それは不運としてではなく、尊い奉仕の機会としてみなすべきである。

他のすべての場合と同じように、この働きにおいては、働きそのものの中から技量が得られる。人生の平凡な義務や、困っている人や悩んでいる人々への奉仕に訓練されることによって実力が養われる。これがなければどんなに最善の努力をつくしたつもりでも、無益であるばかりでなく、有害でさえある。人が泳ぎを習うのは陸の上においてではなく水の中においてである。(教育 317)

世の悲惨と絶望の深さをご存知であるキリストは、同時にその救済の方法もご存知である。彼は罪と不幸と苦痛のために暗黒の中におしつぶされている魂をいたるところにごらんになる。しかしまた彼はそれらの魂の可能性もご存知である。彼はそれらの魂が到達し得る高さをご存知である。…人類の救済を通して、創造主は栄光をうけなければならない。(教育 319)

教会は神の目に非常にとうといものである。その外面の装いではなく、世とは全くかけはなれた誠実な敬神さのゆえに、神は教会を重んじられるのである。神は、その教会員がキリストを知る知識にどの程度成長しているか、また、霊的な経験にどの程度進んでいるかによって教会を評価なさる。(キリストの実物教訓 277)

聖書の教え

イエスは罪人をお受入れになる

まえがき

「さて、取税人や罪人たちが皆、イエスの話を聞こうとして近寄ってきた。するとパリサイ人や律法学者たちがつぶやいて、『この人は罪人たちを迎えて一緒に食事をしている』と言った。」(ルカ 15:1, 2)

サンパウロの地下鉄網の遺失物(失せもの探し) コーナーは、セ駅にあります。このコーナーにある数は印象的です。二年前、業界は、地下鉄網の駅で80,000の忘れ物を収拾しました。これは一日平均200以上の忘れ物にあたります。最も多い忘れ物は、財布、携帯、本、そして衣類です。しかし、ベビーカー(感謝なことに子供なしで)、タイプライター、入れ歯、あるいは義肢まで探すことができます。このような個人的なものをどうやって忘れることができるのか考えられません。毎日のラッシュと満員電車が、このような忘れ物のケースを引き起こすのでしょうか。しかし、最も悲劇的なのは、個人的な所有物をなくすのではなく、子供を暴力や薬物で失ったり、人生の方向性を失ったり、意味のない人生、あるいは目的のない人生を送ったりすることです。しかし、今日、このドラマを生きている人々が大勢います。

失われた命は、神のみこころにも触れます。聖書は、あるときに、「イエスは舟から上がって大ぜいの群衆をごらんになり、飼う者のない羊のようなその有様を深くあわれんで、いろいろと教えはじめられた」(マルコ 6:34)。当時の宗教指導者がイエスに対してなした一つの批判は、賛辞と考えることができます。彼らは、イエスが「罪人の友」(マタイ 11:19 欽定訳)だとつぶやきました。これらの敬虔な信者は、どうして神に油をささげた者だと主張する人が、社会からはじき出された人々と共に歩むことができるのか、理解できませんでした。

ルカによる福音書 15 章に、神が失われた者に対してどのようにお感じになるか理解を助ける三つの物語（譬）があります。この章は、聖書の「失せもの探し」コーナーとして知られています。

聖書で最も美しく慰めに満ちたメッセージの一つは、このコーナーにあります。提示された 3 つの物語は、異なる種類の罪人を描写しています。3 つすべての譬は「ハッピーエンド」で、神の愛は計り知れないこと、また救われたいと望む罪人に神の恵みと憐れみが届かないことはないということが表されています。しかし、救われたいという願望そのものは、聖霊によって、人の心の中におかれるのです。「神は、すべての人が救われて、真理を悟るに至ることを望んでおられる」（テモテ第一 2:4）。

罪人の救いの過程における主導権は、いつも神からです。罪人はだれひとり、自分で神に戻ることはできません。もし罪人が救いに至るために、自分自身の主導権と努力を頼みとするなら、まったく失われてしまうことになります。

恵みと憐れみは、「愛のひも」で罪人を引き寄せるために神がお使いになります。だれひとり神の憐れみと愛にふさわしい人はいません。罪人は神の愛にふさわしい行為を何一つ行うことができません。ですから、罪人の救いは完全に神の恵みにかかっているのです。

このあとの物語は正しく理解するなら、どれほど神がご自分の失われた被造物を回復したいと願っておられるかを明らかにしています。もし罪人が自分を救う神の働きに反して、自分のゆがんだ意志を差しはさまないならば、彼は疑いのよもなく、御父の家に回復されるのに必要なすべてのものを持つようになります。

これらの譬の研究がすべての罪人にとって非常に有益なことはたしかです。迷った羊でも、なくした銀貨でも、あるいは「自由」と思われたものを追い求めて父の家を出た放蕩息子だとしてもです。その自由はこの世の君、やみの主権者の指導者によって生み出された惑わし以外の何物でもありませんでした。

あるとき、わたしがルカ 15 章に基づいた説教をすることになっていた霊的な

集会の大テーマが、「イエスは罪人を受け入れられる」と案内されていました。一人の婦人がわたしに近づいてきて言いました。「わたしはイエス様が罪人を受け入れて下さることを知ってとてもうれしいです」。わたしもまた希望と慰めを与えるこの基礎的な真理を知り、広めることを非常にうれしく思います。皆さんもまた、イエスをご自分の尊い命をお与えになった一人ひとりの魂を愛する大きな愛を知ることから、大いに恩恵を受けるようにと願っています。

それでは、次回以降、その譬を見ていきましょう。

神のみかたちを回復する

Restoring the Image of God



12 月

み言葉を広めよ！

12月1日

神の道を知らせる

「どうか神がわれらをあわれみ、われらを祝福し、そのみ顔をわれらの上に照らされるように、これはあなたの道があまねく地に知られ、あなたの救いの力（健康）がもろもろの国民のうちに知られるためです。」（詩篇 67:1, 2）

あなたは親友や日々交わる人々に真理を伝えることが重要であり、重荷であると感じるであろうか。あなたは近隣において、あなた自身の家族の中で伝道者であろうか。あなたが最もよく知られている場所で改革の深い働きを進めようとしているであろうか。あなたの生活はあなたの家族や労働者のいる家庭で感化を与えるような生活であろうか。あなたは図表を掛けて、そこに説明されている通りに真理を彼らに示すことができる。もしあなたがこのようにすべきであるという思いを持っているなら、預言的な歴史を説明し、預言をたどることによって、万物の終わりが近いことを彼らに教えることができる。あなたは神の律法の聖なることを彼らに印象づけ、その要求を彼らに示すことができる。……

知恵と柔和によってあなたは魂をキリストと真理に勝ち取ることができる。しかしある人々はこの働きをする代わりに自分自身の事業を最も重要なものとする。彼らは自分の現世の事業のことを話し、労働に見合う最大量を得ることができるようにと活力をすべて注ぎ込んでいる。これが彼らにとって朝から昼まで、昼から夜まで最も重要な関心事である。一日中彼らの態度と行動は自分たちの労働者に対して、わたしの農場はわたしの神であり、真理やあなたの魂の救いよりももっと価値があると言っている。その日の記録は天へ上り、足りないことがその人の名の反対側に記される。彼はイエス・キリストの僕であると公言するが、ただ自分自身の利益に仕える。彼は不忠実なしもべである。あなたは審判であなたに不利となって現れる男女に囲まれる。彼らは「あなたはこれらのことを信じていたのになぜわたしに言わなかったのか。あなたの家屋と土地はあなたにとってわたしの魂の救いよりももっと関心があつたのだ」と言う。

神を愛すると公言する者がだれであつても、自分自身の事業に手と頭脳をもちいて非常に熱心に働き、熱い精神からくる奉仕を神にささげるのに自分をふさわしくないものとするのはこのお方にとって不快なことである。（ビュー・アソ・ヘルト
・ 1870 年 3 月 29 日）

神の栄光をあらわす

「全地よ、主に向かって歌え。日ごとにその救いを宣べ伝えよ。もろもろの国の中にその栄光をあらわし、もろもろの民の中にくすしきみわぎをあらわせ。」(歴代志上 16:23, 24)

神の御霊は、唯一平和と休息を与えるもの—より高くより聖なる天の喜び—を求めるようにと、絶えず人々の思いに印象を与えておられる。命と栄光の主なるキリストは、人をサタンの力から贖うためにご自分の命をお捧げになった。わたしたちの救い主は、人々の思いを現世の満たすことのない快樂から、永遠の未来において彼らのものとするところの値のつけられない宝へと引きつけるために、見える感化力と見えない感化力を通していつも働いておられる。

神は、ご自分の民が言葉と態度で、地上の魅力や世間的財産は天の嗣業を失うのを埋め合わせるほど十分な価値はないことを世に宣言するのを望んでおられる。真に光の子であり昼の子である人々は、会話、衣服、態度において虚栄心が強く軽薄な者ではなく、節度があり熟慮し、絶えず魂を贖い主に引きつける感化力を及ぼす。十字架から反射するキリストの愛は、無限の愛のひもでわたしたちの救い主のうちに見出される平安と幸福へと、罪人を引き寄せつつ彼のために嘆願している。神は、ご自分に従うすべての者が彼らのふるまい、衣服と会話、生活に従事するすべてにおいて、真の信心の力はこの世と来世においてすべての者に益をもたらし、これだけが受ける者の魂を満足させることができることを、明白な言葉で生きた証を担うようにと命じておられる。(教会への証 4 巻 580,581)

わたしたちは、自分たちを世から分離し、今日あるを得させた特別な真理を目立たないものにすべきではない。なぜならそれらは永遠の関心事に満ちているからである。神はこの最後の残りの時に今起こっている事柄に関してわたしたちに光を与えておられるので、わたしたちはペンと声をもって、無気力な熱意のない方法ではなく、御霊と神の力の論証で世に真理を宣布すべきである。……

わたしたちは、バビロンにおけるダニエルと彼の仲間がしたように、何が来ようと、原則に忠実であることを目的とすべきである。彼らは試練の時に堅く立ち、炉に投げ入れられた。そして、彼らは神に見捨てられなかったのである。(牧師への証 470,471)

12月3日

なぜ神を喜ばせるのを遅らせるのか

「あなたのパンを水の上に投げよ。多くの日の後、あなたはそれを得るからである。あなたは一つの分を七つまた八つに分けよ。あなたは、どんな災いが地に起こるかを知らないからだ。」(伝道の書 11:1, 2) .

天へのわたしたちの会計報告は、わたしたちを恐れおののかせる原因となるべきである。終わりの日の決定は実際の善行しだいである。キリストは善行のどの行為もご自身になされたものとしてお認めになる。

わたしたちの世でなされるべき大いなる働きがある。男女は舌の賜物や奇跡を働くことによってではなく、十字架にかかれたキリストを宣布することによって変えられるべきである。世をより良くするための努力はなぜ遅れているのだろうか。なぜある者は素晴らしいことが起こるのを待ち、ある者は高額な機械が供えられるのを待つのであろうか。あなたの領域がいかによいものであろうと、あなたの働きがどれほど身分の低いものであろうと、もしあなたが救い主の教えと調和して働くなら、このお方はあなたを通してご自身をあらわし、あなたの感化力は魂をこのお方へと引き寄せる。このお方は、ご自分への奉仕を熱心に行おうとする柔和で身分の低い者に栄誉をお授けになる。わたしたちの働きが商店、農場、事務所のいずれであっても、わたしたちが行うすべてのことに魂を救うための努力を持ち込むべきである。

わたしたちは、自分の魂を神の愛の内に保ちつつ、主人であるお方の奉仕に自分に委ねられた財産を用いつつ、昼の間に働きながら、すべての水のほとりに種をまくべきである。わたしたちの手が行うべきことを何であっても見つけるなら、わたしたちは喜んでそれを行うべきである。どのような犠牲を払うように命じられても、それを進んで行うべきである。……

救い主は、ご自分が見出す者を形づくることを引き受け、ご自身のみ名の栄光のために彼らをお用いになる。このお方は、他の者は見過ごすような人材をお用いになり、献身するすべての者の内で働かれる。このお方は、見たところ希望のない人材、サタンが卑しくしてしまった者を引き受けることを喜ばれ、彼らをご自分の恵みの臣民となさる。彼らを苦しみから、また不従順な者に襲いかかる怒りから救い出すのを喜ばれる。このお方はこの働きを成し遂げる中でご自分の子らをご自分の代理人となさるので、彼らはこの世においてすら、その成功の中で尊い報いを見出す。(レビュー・アンド・ヘラルド 1905 年 1 月 5 日)

イエス…そしてヨブから学ぶ

「わたしは目しいの目となり、足なえの足となり、貧しい者の父となり、知らない人の訴えの理由を調べてやった。」(ヨブ 29:15, 16)

〔キリスト〕は他の人々の善のために生きることをわたしたちの義務としておられる。このお方はご自分が人にどれほどの大きな関心を持っておられるかを示すために、天の宮廷からこの世へ来られた。……

もし天の至高者が人に対するご自分の愛をこれほど多く示すことがおできになるのであれば、人は闇と苦しみ穴の外へ出るために互いに助けようとする意志があるべきではないだろうか。……わたしたちの愛は、しばしば利己的である。なぜなら、それを定めた範囲に限定するからである。わたしたちがキリストとの密接な結合と協力に入るとき、わたしたちの愛と同情と善意の働きは、実践によってより深く達し、より広くより力強くなる。キリストに従う者の愛と関心は、広く世界に及ばなければならない。単に自分と自分のもののために生きる者は天を失う。神は、愛を培う家族としてあなたに、あなた自身に関しては敏感にならず、他人の深い悲しみや試練にはもっと敏感になるようにと命じておられる。あなたが自分の生活すべてを大事にしてきたこの利己的精神は、道の反対側にいた不運な人のそばを通り過ぎた祭司とレビ人によって正しく描かれている。彼らはその人が助けを必要としているのが分かったが、意識的に彼を避けた。

あなたがた一人ひとり、型にはまった利己的な生活から抜け出すためにしっかりと直視する必要がある。あなたの過去の人生の失敗を贖うために力を尽くして働くことによって、自分に与えられた短い猶予期間に向上しなさい。神はあなたを試み、あなたが永遠の命という賜物にふさわしいかどうかを知ろうとして、あなたを苦しみの世に置かれた。あなたのまわりには悩みのある人々、同情、愛、やさしい言葉を必要とする人々、わたしたちのへりくだったあわれみ深い祈りを必要としている人々がいる。ある人々は貧困という鉄の手の下で、ある者は病気で、また他の者は心痛、失望、深い悲しみで苦しんでいる。あなたはヨブのように、目しいの目となり、足なえの足となり、他人の訴えの理由を調べてやり、彼らの貧困を軽減し、彼らが最も助けを必要とするまさにそれを助けるために目に見える対象を探し出すべきである。(教会への証 5 巻 530,531)

12月5日

変わらない証人たち

「主は言われる、『あなたがたはわが証人。わたしが選んだわがしもべである。それゆえ、あなたがたは知って、わたしを信じ、わたしが主であることを悟ることができる。』」（イザヤ 43:10）

〔あなたがたはわが証人〕とイエスは言われたので、わたしたちは自分たちの生活の一つ一つの行為の中で、自分のふるまいが贖い主の王国の利益にどのような影響を及ぼしているかと尋ねなければならない。もしあなたが本当にキリストの弟子であるなら、あなたの生来の感情にどれほど苦痛を覚えても、このお方のみ足の跡を歩むことを選ぶ。「わたし自身には、わたしたちの主イエス・キリストの十字架以外に、誇りとするものは、断じてあつてはならない。この十字架につけられて、この世はわたしに対して死に、わたしもこの世に対して死んでしまったのである」と、パウロは言った。あなたは……昔マリヤがしたように、イエスの足元に座ってこのお方に学ぶ必要がある。神はあなたの意志、あなたの計画と目的を完全に明け渡すようにとあなたにお命じになる。イエスは、あなたが注意深く見なければならず、信頼しなければならぬあなたの指導者であられる。あなたが神に負っている、献身の生活を妨げるいかなるものも、あなたは許してはならない。あなたの会話はあなたが自分の救い主を求めている天でのものでなければならない。あなたの敬虔はあなたの感化力の領域にいるすべての人に感じられる性質のものでなければならない。神はあなたに生活のどの行為においても悪の外見ですら避けるようにとお命じになる。あなたはこれをしているであろうか。あなたは主の敵と結びつくことによって、あなたの聖なる信仰を矮小化したり、妥協したりしないという最も聖なる義務の下にいる。もしあなたが、他の人々がそうしているがゆえに、このお方のみ言葉による命令に注意を払わないよう誘惑されるなら、あなたの模範も感化を及ぼすことを覚えていなさい。他の人々はあなたがするように行い、このようにして悪が広がる。あなたが神の子であると公言する傍ら、あなたの側でこのお方のご命令からそれるなら、導きを求めてあなたを見ている人々に無限の害が結果として生ずる。

魂の救いはキリストに宿っている人々の変わらない目的である。しかしあなたを暗闇から呼び出してくださったお方をほめたたえるために、あなたは何をしてきたのであろうか。……

忠実への最も強い励み、最も気高い動機、最も栄光に満ちた報いがわたしたちの前に置かれている。永遠の喜びの門に着く人々は、自分たちがなした犠牲はあまりにも大きかったとみなさない。（教会への証 5 巻 367,368）

真の必要に対処する

『わたしはさきに告げ、かつ救い、かつ聞かせた。あなたがたのうちには、ほかの神はなかった。あなたがたはわが証人である』と主は言われる。」(イザヤ 43:12)

あなたは来たるべき世界の力を味わったことがあるであろうか。あなたは神の御子の肉を食べ血を飲んできたであろうか。そうであれば、按手によって聖職者の手があなたの上に置かれていなくても、キリストはご自分の手をあなたの上に置き、『あなたはわが証人である』と仰せになる(イザヤ 43:12)。

神がご自分の器としてお用いになる人々が、ある人々には無能であると見なされるかもしれないが、もし彼らが祈ることができ、彼らが真理を愛しているがゆえにそれを飾り気なく話すことができるなら、彼らは聖霊の力によって人々に達することができる。彼らがみ言葉から読み、あるいは経験上の出来事を思い出させつつ真理を飾り気なく示すとき、聖霊は思いと品性に印象づけてくださる。(教会への証 6 巻 444)

任命された牧師ではないが神との交わりを持ち、聖書を理解しているわたしたちの民は、なぜほかの人々に御言を開かないのかと、わたしは不思議に思っている。もし彼らがこの働きに喜んで従事するなら、大いなる祝福が彼ら自身の魂に来るであろうに。神はご自分の民が働くよう望んでおられる。一人びとりの男性に、そして一人びとりの女性にも、このお方はご自分の働きを与えてこられた。だから一人びとりは自分のいくつかの能力に従ってこの働きを行うべきである。(世界総会冊子 1901 年 4 月 22 日)

牧師が真理の種をまく働きの大部分を行うようにと任せられるのは主のご目的ではない。牧師の職務に召されていない人々が、自分たちのいくつかの能力に従って主人であるお方のために労するよう励まされるべきである。今は怠けている幾百の男女が受け入れられる奉仕をすることができる。友人や近隣の家庭に真理を伝えることによって、彼らは主人であるお方のために大いなる働きをすることができる。神は偏(かたよ)りみられる方ではない。このお方は、たとえある他の人々のように徹底的な教育を受けていなくても、へりくだった献身しているクリスチャンをお用いになる。そのような人々に戸毎の働きをすることでこのお方のための奉仕に携わせなさい。もしへりくだって思慮深く信心深ければ、彼らは炉辺で、任じられた牧師ができるよりももっと各家族の真の必要に対処することができる。(教会への証 7 巻 21)

12月7日

キリストのために大胆に話す

「恐れてはならない。またおののいてはならない。わたしはこの事を昔から、あなたがたに聞かせなかったか、また告げなかったか。あなたがたはわが証人である。わたしのほかに神があるか。わたしのほかに岩はない。わたしはそのあることを知らない。」(イザヤ 44:8)

人々は、神に自分の心を捧げたのちも、彼らが持つことのできる力強さを受けないために、時々宗教上の主題に非常に控えめで臆病、神経過敏である。わたしたちは現世の関心事を差し控えることなく話すのに、なぜわたしたちの永遠の関心事を話すのにそれほど乗り気がしないのであろうか。すべての心が聖なる大胆さを吹き込まれることを願う。わたしたちが皆勇気と不屈の精神と信仰をもってイエスを掲げることができるようにと願う。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1882年3月16日)

カレブに勇気を与えたのは彼の神を信じる信仰であった。人への恐れから、力ある巨人であるアナクの子らさえ恐れず、彼を守り、権利を守ることに於いて大胆にしり込みしないで立つことを可能にしたのは、神を信じる信仰であった。同じ高められた源、天の万軍の力強い将から、キリストの十字架の真の兵士一人びとりは、しばしば打ち勝つことのできないように思える障害物を克服するために、力と勇気を受けなければならない。神の律法は無効にされているので、自分の義務を行いたいと思う者は神が自分にお与えになるみ言葉を常に語る用意をしていなければならない。(教会への証 7巻 378)

わたしたちは失望落胆するのではなく、聖なる大胆さに満たされなければならない。わたしたちは罪が広く認められることにより、あるいは右側左側に生ずる困難によって勇気を失うべきではない。わたしたちは神の武具で身を固め、正義のために堅く立たなければならない。(レビュー・アソシエイト 1904年10月13日)

神への堅固で逸脱しない信頼を示し、いつも原則に忠実でありなさい。揺れ動いてはならない。あなたが真理であると知っていることをはっきりと語り、その結果を神に任せなさい。神があなたの望みの真実性をテストしておられることを心に抱いていなさい。神のみ言葉を信じ、その御座にあなたの嘆願を訴え続けるのをやめてはならない。……教訓と模範によって高められた原則を保ちなさい。神は来たるべき命の力の中で、本物であり現実であるあなたの証を力あるものにしてくださる。(同上 1900年10月30日)

打ち勝つための二つの鍵

「今や、われらの神の救いと力と国と、神のキリストの權威とは、現れた。われらの兄弟を訴える者、夜昼われらの神のみまえで彼らを訴える者は、投げ落とされた。兄弟たちは、小羊の血と彼らのあかしの言葉とによって、彼にうち勝ち、死に至るまでもそのいのちを惜しなかった。」(黙示録 12:10, 11)。

わたしたちは小羊の血とわたしたちの証の言葉によってのみ打ち勝つ者となることができる。わたしたちは、よく秩序立てられた生活と信心深い会話によって、教会内と世で光となる。(セクレット・メッセージ 1 巻 170)

天の雲に包まれたキリストの来臨のためにふさわしくなることは、他の何ものよりも重要であると考えられるべきである。わたしたちは自分の魂に持ち込まれた天とわたしたちの生活に表されるキリストを持つ必要がある。小羊の血とわたしたちの証の言葉で打ち勝つ者となるのはわたしたちの特権である。(レビュー・アンド・ヘルド 1909 年 4 月 8 日)

すべての者は、主のために、何かを語らなければならない。なぜならば、そうすることによって、彼らは恵まれるからである。集会を止めることをしないで、たびたび互いに語り合う人々について、覚えの書が記されている。残りの民は、小羊の血と彼らのあかしの言葉によって勝利すべきである。ある人々は、小羊の血だけで勝利するものと思って、自分たちで特別の努力をしていない。神は……われわれに言葉の力をお与えになった。神はわれわれに舌をお与えになった。われわれはその用い方について責任を問われるのである。われわれは、われわれの口をもって神に栄光を帰し、真理と神の限りないあわれみをほめたたえ、小羊の血によるわれわれのあかしの言葉によって勝利しなければならない。

われわれは集会に来て黙ってはいはならない。集会に来て神の誉れと栄光と力について語る人々だけが、主に覚えられる。このような人々の上に神の祝福が下り、彼らは新しい力を受ける。(初代文集 215, 216)

わたしたちのあかしは多くのことを意味する。それは全宇宙と世の前にある。(天国で 278)

12月9日

臆病から勇気へ

「わたしとわたしの言葉とを恥じる者に対しては、人の子もまた、自分の栄光と、父と聖なる御使との栄光のうちに現れて来るとき、その者を恥じるであろう。」(ルカ 9:26)

ピアース姉妹にはうぬぼれと自信があまりない。彼女には多くの恐れがあるが、臆病者と不信者、すなわち神の王国に場所を見出すことのない者の部類には入らない。町の外にいる人々は、言葉のうちに生きるが、行為と真理のうちに生きることがせず、最も自信があり、自慢げで、外見上は熱心な者の中にいる。彼らの心は神との関係において正しくない。神への畏れが彼らの前にない。第二の死で罰せられる臆病者と不信心者はこの世でキリストを恥じる部類のものである。彼らは正義を行いキリストに従うことを恐れ、金銭上の損失を受けないようにする。彼らは譴責や試練を避けるため、危険を逃れるために自分たちの義務を怠る。このように自分が試練、迫害、損失、苦しみにさらされるがゆえに、あえて正しいことを行わない者は臆病者、偶像礼拝者と共にいる者、うそつき、罪人であり、第二の死に熟しつつある。(教会への証 2 巻 630)

わたしたちは真理と過ちの最後の闘争が荒れ狂っているこの世の歴史の最も厳粛な時代に生きているので、わたしたちには正義のために勇気と堅固さ、神への信心深い信頼が必要である。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1886 年 11 月 4 日)

ほとんどすべての人が普通の会話で聞こえるのに十分大きく話すことができるのに、証をするか祈りをするよう頼まれると、同じ声とタラントがなぜ用いられないのであろうか。天の事柄、神の事柄を語るとき、はっきりとした口調で、すなわち、自分が何について話しているかを知っており、また、自分の色を示すことを恥じてはいないことがはっきりわかる方法で語ろうではないか。……あなたの仲保者キリストがご自身の功績としみのない義を混ぜて、あなたの祈りを良い香りの香として捧げるために御父の前に立つておられる天の至聖所に、あなたの目を向けなさい。(クリスチャンの教育 127)

あなたの救い主に絶えずより頼み、知恵と勇気を求めてこのお方のところへ行きなさい。(上を見上げて 146)

キリストを告白する信徒

「だれでも人の前でわたしを受け入れる者を、人の子も神の使たちの前で受け入れるであろう。しかし、人の前でわたしを拒む者は、神の使たちの前で拒まれるであろう。」(ルカ 12:8, 9)

実際のな宗教はエネルギーと忍耐を宗教と共に持ち歩く。その実施は柔和、愛、思いのへりくだりに、克己と無私無欲の善行に表される。わたしたちの天父は心の目的と意図を量られる。もしあなたの力、不安、関心の大部分があなた自身と家族に仕えるために用いられるなら、またあなたの世的な事業を前進させるために用いられるなら、あなたが信じる真理が現実であることを不信心な世に、どのように証することができるであろうか。あなたは自分の信仰が本物であり、万物の終わりが近いことを本当に信じていることを、どうやってほかの人々に示すのであろうか。

人がこの信仰を持ちながら、それを表現せず、自分たちの働きによってこの信仰を示さないことは不可能である。もし彼らの関心が、この世の事柄に獲得することに捧げられ、彼らの力がことごとくこれに心をかけて費やされるなら、キリストがそのために死なれた魂の価値を感じることや、このお方がすぐに来られることを信じることは不可能である。……

伝道者が欠乏している。わたしたちは、あなたがたが皆生きた伝道精神を持つことを願う。あなたがたは伝道者になるためにカリフォルニアやヨーロッパへ行く必要はない。あなたがたには自分たちの家族の中や、近隣で行うべき働きがある。あなたがたが最もよく知られている場所で、あなたがたの働きがその信仰と調和していなかったのであれば、あなたがたが外部の人々に良い評判であるようにと、神がもっと離れた場所や外国伝道のための働きの重荷を置く人々ではない。あなたがたは、自分が親友や日々交わる人々に真理を紹介することの重要性と重荷を感じるのであろうか。あなたがたは近隣で、家族の中で伝道者であろうか。あなたがたは自分が最もよく知られている場所で、改革の深い働きを前進させようと努めているのであろうか。……

多くの者が、模範に裏付けされた教訓を思慮深く自分たちに与えた人々と共に働くことによって、真理に改心してきた。(ビュー・アズ・ハルド 1870年3月27日)

12月11日

二人ずつで働く

「主は別に七十二人を選び、行こうとしておられたすべての町や村へ、二人ずつ先におつかわしになった。」(ルカ 10:1)

キリストがご自分の弟子たちを伝道旅行におつかわしになった時、このお方は二人ずつつかわされた。これが主のご計画である。(原稿リ-ス 15, 59)

男だけでなく女も訪問伝道の分野に入ることができる。そして訪問伝道者は二人ずつ行くべきである。これは主のご計画である。

猶予期間が続いている限り、訪問伝道者には働く機会がある。宗教が神の民を圧迫するために法王権と結びつくとき、宗教上の自由がある場所は福音伝道者の訪問伝道によって開かれる。もしある場所で迫害が厳しくなれば、働き人にキリストが指示されたようにさせなさい。「一つの町で迫害されたなら、他の町へ逃げなさい」(マタイ 10:23)。もしそこに迫害が来るなら、なおほかの場所に行きなさい。神は多くの場所でご自分の民を祝福しつつ、彼らを導かれる。迫害がなければ、彼らは真理を宣布するために非常に広くあちこちに散らされることはない。そしてキリストは「あなたがたがイスラエルの町々を回り終わらないうちに、人の子は来るであろう」と仰せになる(マタイ 10:23)。天において「事はなった」との言葉が語られるまで、そのメッセージを受け入れるための労と心のための場所がある。(ビュー・アソド・ハルド 1902 年 10 月 7 日)

兄弟たちよ、あなたがたはその働きの重要性を知るとわたしたちの民を導くために、熱心な説得力で話すタラントを用いるであろうか。わたしたちは、訪問伝道をする者たちに地の暗い場所に光を持っていくようにと訴えつつ、彼らの熱意と熱心さを呼び起こさなければならない。タラントと能力をもっているだれにとっても免除はない。彼らは主の器であるようにと命じられ、この罪で暗くなった世界に天の光を注ぎ込むために主イエスと協力するよう命じられている。

あなたの現在と未来の利益を確保するために、キリストはご自身を犠牲として与えてくださった。あなたは犠牲によって神と契約を結ぶことから引き下がるのであろうか。キリストは、罪のうちに滅びつつある世界を救うために十字架上で死なれた。このお方は魂を救うご自分の働きにあなたの協力をお求めになる。あなたはこのお方の助けの手となり、なされる必要のある働きをし、できる限り多くの人の前に真理を提示すべきである。(原稿リ-ス 11,355,356)

収穫のための実り

「収穫は多いが、働き人が少ない。だから収穫の主に願って、その収穫のために働き人を送り出すようにしてもらいなさい。」(ルカ 10:2)

今成し遂げられるべき大いなる働きは、その働きに携わり、聖なる感化力を及ぼすために神の民を育てることである。彼らは労する者の役目を果たすべきである。彼らは知恵と用心と愛をもって隣人や友の救いのために労すべきである。表される感情はあまりに距離がある。十字架はそれがあるべきほどに正しく捉えられておらず、担われてもいない。すべての者が、自分たちは兄弟を守る者であり、自分の周りにいる人々の魂に対し非常に大きな責任があると感じるべきである。彼らがこの働きをすべて牧師に任せるとき、兄弟は過ちを犯す。収穫は多いが、働き人は少ない。評判の良い人々、その生活が信仰に調和している人々は、働き人になることができる。彼らは他の人々と打ち解けて話すことができ、真理の重要性を彼らに力説することができる。彼らは牧師を待って、神が自分たちに実行するようにと委ねておられるはっきりとした義務を怠ってはならない。(教会への証 1 巻 368,369)

あなたは自分が少ししかすることができないと考えて、主のために働くのをためらってはならない。あなたの小事を忠実に行いなさい。なぜなら、神があなたの努力と共に働かれるからである。このお方は、主の喜びに入る価値のある者として、あなたの名を命の書に書き込まれる。(ビュー・アズ・ヘルド 1891 年 6 月 16 日)

神のものと公言している民の中で、だれがこの聖なる働きを取り上げ、知識の欠如のゆえに滅びつつある魂のために労するのであろうか。世界は警告されなければならない。多くの場所が、献身した、忠実で、倦むことを知らない努力の必要があるものとして、わたしに指し示されている。キリストはわたしたちの大きな町々で多くの人の心と思いを開いておられる。これらの人は神の御言の真理を必要としているので、もしわたしたちがキリストと聖なる同意に入り、これらの人々に近寄ろうと努めるなら、善に誘う感化力がもたらされる。わたしたちは目覚め、キリストとまた同胞と共に同情が心にわく必要がある。大都市、小都市、近くで遠くで働くべきであり、聡明に働くべきである。決してたじろいではない。もしわたしたちが主の御霊と調和して働くなら、このお方は心に正しい印象をお与えになる。(レクテッド・メッセージ 2 巻 403,404)

良心への神のみ声

「わたしはまた主の言われる声を聞いた、『わたしはだれを使わそうか。だれがわれわれのために行くだろうか』。その時わたしは言った、『ここにわたしがおります。わたしをおつかわしてください』。」(イザヤ 6:8)

心に秘めた計画や親しい友との交わりを捨てて、神の摂理の召しに応じる者はだれであろうか。キリストのための損は利益であると考えて、新しい任務を引き受け、働きが始められていない地に行き、堅い決心のもとに喜んで神のみわざに従事するのはだれであろうか。このようにする人はアブラハムと同じ信仰を持っている。(人類のあけぼの上巻 124)

主のみ声が「わたしはだれをつかわそうか。だれがわれわれのために行くだろうか」とお呼びになるとき、神の御霊は「ここにわたしがおります。わたしをおつかわしてください」と応じるようにと、それを心の中にお入れになる(イザヤ 6:8)。しかし祭壇からの生きた炭がまずあなたの唇に触れるように、思いに抱きなさい。そうすればあなたの語る言葉は賢く聖なる言葉となる。そうすればあなたは何を言うべきか何を言わないままにすべきかを知る知恵を持つようになる。あなたは神学専門家としての賢さを表そうとしない。教理の論争点を持ち出すことによって闘争的な精神を起こしたり偏見を起こさせたりしないよう、あなたは気をつけるようになる。あなたは反感を起こさせるのではなく、神のみ言葉のより深い知識を望むようにと心を開くことについて語ることを十分見出す。

主はあなたが魂を勝ち取る者であることを望んでおられる。それゆえあなたは教理上の点を人々に押しつけるべきではなく、「あなたがたのうちにある望みについて説明を求める人には、柔和と恐れをもって弁明のできる用意をしている」べきである(ペテロ第一 3:15)。なぜ恐れるのであろうか。あなたの言葉に尊大なところがないように、思慮のない言葉を語らないように、言葉と態度がキリストのようでないところがないように恐れなさい。キリストと固く結びつき、真理をこのお方のうちにあるがままに提供しなさい。贖いの物語によって心に触れるのに失敗することはない。あなたがキリストの柔和とへりくだりを学ぶとき、人々に何を言うべきかを知る。なぜなら聖霊があなたにどのような言葉を語るべきかを言われるからである。(教会への証 6 巻 325)

一人びとりのためになすべきことが何かある。真理を信じるそれぞれの魂はここにわたしがおります。わたしをおつかわしてください」と言って、自分の地所と場所で立つべきである。(同上 49)

伝道の手法

「どの町へ入っても、人々があなたがたを迎えてくれるなら、前に出されるものを食べなさい。そして、その町にいる病人をいやしてやり、『神の国はあなたがたに近づいた』と言いなさい。」(ルカ 10:8, 9)

キリストの生涯の間、病人と苦しんでいる者はこのお方の特別の世話の対象であつた。このお方が弟子たちを遣わされたとき、福音を伝えるだけでなく病人を癒す任務も彼らにお与えになった。このお方が 70 人を送り出されたとき、病人を癒し、次に神の国が彼らに近づいたことを説くようにと彼らに命じられた。使徒たちが説くべきであつたそれらの真理によって、道が彼らの思いに到達する準備ができるために、彼らの身体が健康がまず世話を受けるべきであつた。世の救い主は説教するよりも病気に苦しむ人々を癒すためにより多くの時間と働きを捧げられた。地上におけるご自分の代理人である使徒たちへのこのお方の最後の命令は、彼らが回復することのできる病人に手を置くことであつた。主人であるお方が来られるとき、このお方は病人を訪問し苦しんでいる者の窮乏を和らげている人々をおほめになる。(教会への証 4 巻 225)

病人はどこにでも見出すことができるので、キリストのための働き人として出て行く者は真の健康改革者であり、病気の人々に苦痛を取り除く単純な治療を施し、それから彼らとともに祈る準備ができていなければならない。このようにして彼らは真理が入るための戸を開く。この働きをすると良い結果が続く。(伝道 516)

自分の所在を変えたい兄弟、神の栄光を考慮に入れている兄弟、他の人々に善を行うこと、またキリストがその尊い命を差し控えることをなさらなかった魂を益し、救うことが自分に置かれている個人的な責任であると感じる兄弟は、光がほとんど、あるいは全くない町々、村々に、彼らが自分たちの働きと経験で他の人々に心の奉仕をし、祝福することができる町々、村々に引越すべきである。伝道者は町々、村々に入り、真理の原則を掲げ、神が全地にご自分の証人を点在させることができ、真理の光がまだ届いていない場所にしみ込むことができ、真理の原則をまだ知られていない場所に掲げることが望まれている。(同上 52)

12月15日

教えを受ける魂を探し求める

「もしあなたがたを迎えもせず、またあなたがたの言葉を聞きもしない人があれば、その家や町を立ち去る時に、足のちりを払い落しなさい。あなたがたによく言っておく。さばきの日には、ソドム、ゴモラの地の方が、その町よりは耐えやすいであろう。」(マタイ 10:14, 15)

この世の人生の仕事の気苦労と比較して、神のみ働きの高められた性質を悟っている人は非常に少ない。天来の教師であられるイエスは、わたしたちにご自分の弟子たちを通して、わたしたちに教育の教訓を与えてこられた。イエスが十二人をお遣わしになったとき、このお方は彼らにどの都市や町に入っても、彼らはそこで自分たちの注意や訪問にふさわしい人を尋ねなければならなかった。そして、もし人々が自分たちに送られた祝福—キリストの使命者をもてなす特権—を重んじるふさわしい場所が見つかったなら、そこに彼らは滞在し、彼らが町を去るときまで彼らの平安はそこに安んじてよいのであった。彼らは、歓迎されていようがいまいがおかまいなしに、どの家でも、あるいはすべての家を無差別に訪問するようには、教えられなかった。そうではなく、もし彼らが歓迎されず、もし彼らの平安がその家に宿ることができないならば、彼らはそこを去り、家族の一人ひとりだけがふさわしく、その彼らの霊が安んじることのできる家を探すのであった。

他の人々に真理を教えるために出て行くキリストの使命者たちが拒まれ、彼らの言葉が心の中に場所を見出さないとき、キリストが選び、遣わされた真理の使命者にあつて、キリストが拒まれ、このお方のみ言葉が蔑まされているのである。これはキリストがご自分の選ばれた使命者たちに指示をお与えになったときのよう、この世の時代においてまさに完全にあてはまる。

キリストが地上におられたときに、神の使命者に対して何の尊敬も敬意も持たず、自分自身の判断力のように、彼らの警告を重んじない人々がいた。またこの世の時代には、自分自身の意見のように高く、神の選ばれた僕たちの証を尊重しない人々がいる。そのような人々は、神の僕たちの働きによって恩恵を受けることはできない。そしてそのような思いに対応し、神のみ働きの品位を下げるために、時間を失うべきではない。(教会への証 3 巻 449, 450)

神のご臨在の約束

「すると、ある夜、幻のうちに主がパウロに言われた、『恐れるな。語りつづけよ、黙っているな。あなたには、わたしががついている。だれもあなたを襲って、危害を加えるようなことはない。この町には、わたしの民が大ぜいいる。』」（使徒行伝 18:9, 10）

大都会における神の使命者たちは、救いのよきおとずれを伝える一方において、直面しなければならない罪惡、不正、墮落などについて失望してはならないのである。主は、罪惡に満ちたコリントにおいて使徒パウロにお与えになったのと同じ言葉をもって、こうしたすべての働き人を励まされるのである。〔使徒行伝 18:9,10 引用〕。多くの者が神のみ言葉の中の神の勧告に耳を傾けないであろうが、全世界が、光と真理、長く耐え忍ばれる救い主の招きを拒むのではないことを、救霊の働きに従事している者は忘れてはならない。暴力と犯罪に満ちたどの町においても、正しく教えられるならば、イエスの弟子になることができるものが多いのである。このようにして、幾千の人々に救いの真理が伝えられて、キリストを個人的救い主として受け入れるようになるのである。（国と指導者上巻 244）

わたしたちが世の潮流と共にこいでいる間は、帆も櫓（ろ）もいらない。わたしたちの働きが始まるのは、正面から向き直って潮流をせき止めようとする時である。サタンはあらゆる理論をもってきて、真理を阻もうとする。働きは厳しい。なぜなら、アダム の墮落以来、罪を犯すことは世の流行となってきたからである。しかし、キリストは活動の舞台におられる。聖霊は働いておられる。神聖な代理人たちが人間と結合して、完全な型に従って品性を新しい形に造り変えている。そして人は、神が内に働いて下さることを、外に働かせるのである。わたしたちは民として、この神の賜った働きをなすであろうか。わたしたちは注意深く、与えられたすべての光に耳を傾け、絶えず聖徒たちを神の王国にふさわしい者にするという一つの目的を自分たちの前におくであろうか。もし信仰によって、わたしたちが偉大な指導者に従いながら、一步一步正しい道を進んでいくならば、光はわたしたちの道すがら輝き、困難を取り除くための状況が起こる。神の是認が希望を与え、奉仕する天使たちがわたしたちと協力し、光と恵みと勇気と喜びをもたらすのである。（教会への証 6 巻 129, 130）

12月17日

わたしたちの境界を広げる

「あなたの天幕の場所を広くし、あなたのすまいの幕を張りひろげ、惜しむことなく、あなたの綱を長くし、あなたの杭を強固にせよ。あなたは右に左にひろがり、あなたの子孫はもろもろの国を獲、荒れすたれた町々をも住民で満たすからだ。」(イザヤ 54:2, 3)

神はご自分の民のためのメッセージをわたしにお与えになった。彼らは目覚めて、自分たちの天幕の場所を広くし、境界を広げなければならない。わが兄弟姉妹がた、あなたがたは代価をもって買われたのである。そしてあなたがたの持っているもの、またあなたがたの存在そのものは、神の栄光と同胞の益のために用いられなければならない。キリストは世を罪のうちに滅びることから救うために十字架上で死なれた。このお方はこの働きにおいて、あなたの協力を求めている。あなたは、このお方の助けの手となるべきである。熱心でうむことのない努力をもって、あなたは失われた者たちを救うよう努めなければならない。十字架を必要にしたのは、あなたの罪であることを覚えていなさい。……

キリストの恵みの変化させる力は、自らを神の奉仕に捧げる人のかたちをつくる。贖い主の御霊が吹き込まれて、彼は自己を否定し、十字架を取り上げ、主人であるお方のためにどのような犠牲でも払う準備ができています。彼はもはや自分の周りで滅びつつある魂に対して無関心ではいられない。彼は自己への奉仕を超越して引き上げられる。彼はキリストのうちに新たに創造されたのであり、自己への奉仕はその生活の中に場所がない。彼は自分の存在のあらゆる部分が、自分を罪の奴隷から贖って下さったキリストに属していることを自覚する。自分の将来の一瞬一瞬が神のひとり子の尊い命の血潮で買われたことを自覚するのである。

あなたは魂を救う働きに、喜んで他のすべての関心ごとを従わせるほどカルバリーで払われた犠牲を深く感謝してきたであろうか。救い主の生涯に際立っていた罪人を救いたいという願望の同じ激しさが、真にこのお方に従う人々の生涯に際立つ。クリスチャンには、自分のために生きたいという願いはない。彼らは自分の持っているもの、また自分の存在のすべてを、ご主人の奉仕のために喜んでお捧げする。彼はキリストへ魂を勝ち取るという言い表しがたいほどの願いによって動かされる。この願いを少しも持っていない人々は、自分自身の救いを案じる方がよからう。彼らに奉仕の精神を求めて祈らせなさい。(教会への証 7 巻 9, 10)

偉大な任務に生きる

「〔イエスは、言われた〕、『わたしは、天においても地においても、いっさいの権威を授けられた。それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し、あなたがたに命じておいたいっさいのことを守るように教えよ。見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである。』」（マタイ 28:18-20）

わたしたちは、天来の命が他の人々へ流れる献身した水路にならなければならない。聖霊が命を吹き込み、教会全体に行き渡り、心を清め、結びつけなければならない。バプテスマにおいてキリストと共に埋葬された人々は、命の新生へとよみがえり、キリストの生涯の生きた代表とならなければならない。わたしたちには、聖なる責任が負わされている。わたしたちに与えられた任務はこれである。〔マタイ 28:19, 20 引用〕。あなたは、救いの福音を知らせる働きに献身したのである。天の完全があなたの力となるべきである。（教会への証 9 卷 20, 21）

愛と単純さのうちに、戸別に尋ねて、真理を提示することは、キリストが最初の伝道旅行にご自分の弟子たちを遣わされたときにお与えになった指示に調和している。讃美の歌によって、またへりくだった心からの祈りによって、多くの人の心に触れることができる。神なる働き人は、心に確信を与えるためにご臨在なさる。「わたしは、いつもあなたがたと共にいる」というのがこのお方の約束である。このような助け手の永続的なご臨在の保証があるので、わたしたちは信仰と希望と勇気をもって働くことができる。

町から町へ、田舎から田舎へ、彼らは救い主がまもなく来られるという約束を記した出版物を携えていかなければならない。……

長く真理を知っている人々は、自分たちの心がなんとしても隣人のために働くという決心で満たしてくださるよう、主にこの上なく熱心に求める必要がある。わが兄弟姉妹がた、近くに住んでいる人々を訪ね、同情と親切によって、彼らの心に触れることができるように求めなさい。偏見を生み出す代わりに取り除くような方法で働きなさい。そして、この時代のための真理を知っていながら、自分たちの努力を自分自身の教会のためだけに限定し、改心していない隣人のために働くことを拒む人々は、果たしていない義務のために責任を問われるようになることを覚えていなさい。（教会への証 9 卷 34, 35）

成就すべき幻

「道やかきねのあたりに出て行って、この家がいっぱいになるように、人々を無理やりにひっぱってきなさい。」(ルカ 14:23)

多くの州には、一度もこの時代のための真理を聞いたことのない、勤勉で裕福な農夫たちの集落がある。このような場所で働くべきである。教会の平信徒にこの分野の奉仕に取りかからせなさい。書籍を貸したり、売ったりすることによって、ちらしを配布することによって、聖書研究を持つことによって、教会の平信徒は自分たちの近隣で、多くことをなすことができるはずである。魂への愛に満たされて、彼らは多くの人々に罪を自覚させるような力をもってメッセージを宣布することができるはずである。

二人の働き人が家庭の中に座していた。彼らの前に聖書を開いて、主イエス・キリストを罪を許す救い主として提示していた。熱心な祈りが神に捧げられ、心は神の御霊の感化によって和らげられ、征服された。彼らの祈りは新鮮さと力をもって述べられた。神のみ言葉が説明されると、わたしはやさしく輝く光が聖句を照らしているのをみた。そしてわたしは静かに言った、「道やかきねのあたりに出て行って、この家がいっぱいになるように、人々を無理やりにひっぱってきなさい。」(ルカ 14:23)

尊い光が隣人から隣人へと伝えられていた。かつて壊されていた家族の祭壇が再び建てられ、多くの人々が改心した。

わが兄弟姉妹がた、奉仕のために主に献身しなさい。一つとして機会を活用せずにやり過ぎてはならない。病人や苦しんでいる人を訪ね、彼らに親切な関心を示しなさい。もし可能であれば、彼らをもっと快適にしてあげられることを何かしなさい。この手段を通して、あなたは多くの人々の心に触れ、キリストのための言葉を語ることができる。永遠だけが、このような働きの分野が、どれほど遠くにまで及ぶかを明らかにすることができる。自分の最も近くにある義務を喜んで人々の前に、有用性の他の分野が開かれる。今必要とされているのは、博学な者でも、雄弁な語り手でもなく、謙遜でキリストに似た男女、すなわチナザレのイエスから柔和と心の低さを学んだ者、またこのお方の強さに信頼して、『さあ、おいでください。もう準備ができましたから』という招きを伝えるために、道やかきねのあたりに出て行く者である(17節)。(教会への証 9巻 35, 36)

特権と義務

「わたしが暗やみであなたがたに話すことを、明るみで言え。耳にささやかれたことを、屋根の上で言いひろめよ。」(マタイ 10:27)

かつて人間に委ねられた中でもっとも厳粛な真理が、世に宣布するために、わたしたちに与えられてきた。これらの真理の宣布がわたしたちの働きとなるべきである。世は、警告を受けるべきであり、神の民は自分たちに委ねられてきた信任に対して忠実であるべきである。彼らは空論にふけるべきでも、未信者と事業を共に始めるべきでもない。なぜなら、それが神の与えられた働きに入ることを妨げるからである。

キリストは、ご自分の民に「あなたがたが世の光である」と言われる(マタイ 5:14)。神の勧告とご計画がわたしたちにこれほどはっきりと明らかにされてきたということは些細なことではない。神のみ旨が確かな預言の言葉のうちに明らかにされた通りに理解できるというのは、すばらしい特権である。これにより、わたしたちには重い責任が負わされている。神はわたしたちがご自分のお与えになった知識を他の人々に与えるよう期待しておられる。神と人間の器が警告のメッセージの宣布において一つになることが神のご計画である。

自分の機会が及ぶ限り、真理の光を受けたすべての人は、次のみ言葉が伝えられたイスラエルの預言者と同じ責任の下にある。「人の子よ、わたしはあなたを立てて、イスラエルの家を見守る者とする。あなたはわたしの口から言葉を聞き、わたしに代って彼らを戒めよ。わたしが悪人に向かって、悪人よ、あなたは必ず死ぬと言う時、あなたが悪人を戒めて、その道から離れさせるように語らなかつたら、悪人は自分の罪によって死ぬ。しかしわたしはその血を、あなたの手に求める。しかしあなたが悪人に、その道を離れるように戒めても、その悪人がその道を離れないなら、彼は自分の罪によって死ぬ。しかしあなたの命は救われる。」(エゼキエル 33:7-9)

わたしたちは、終わりの預言について何かを語る前に、それが成就するのを待つのであろうか。そのとき、わたしたちの言葉に何の価値があるであろうか。わたしたちは罪を犯す者に神の裁きをどのように避けるかを教える前に、彼らの上にそれが下るのを待つのであろうか。神のみ言葉を信じるわたしたちの信仰はどこにあるのか。(教会への証 9 卷 19, 20)

12月21日

いかなる代価を払っても真理を提示する

「あなたがたは、わたしのために、衆議所に引きわたされ、……長官たちや王たちの前に立たされ、彼らに対してあかしをさせられるであろう。こうして、福音はまずすべての民に宣べ伝えられねばならない。」(マルコ 13:9, 10)

わたしたちには、真の安息日を重んじ、それを擁護するための最高の理由がある。なぜなら、それは神の民を世から区別する印だからである。世が無効とした戒めは、まさにこの理由のために、神の民がより大きな誉れを帰す戒めである。不信者が神のみ言葉に軽蔑を投げかけるときこそ、忠実なカレブが求められている。そのときこそ、彼らはみせびらかしなく、また非難によって揺れ動くことなく、義務の持ち場に固く立つのである。不信者の斥候たちは、カレブを滅ぼそうと待ち構えている。彼は偽りの報告を携えてきた人々の手中に石を見るが、それが彼を思いとどめることはない。彼にはメッセージがあり、彼はそれを担うのである。同じ精神が、今日、神に忠実である人々によって表されるようになる。……人々がイエスのそば近くに押し進むとき、キリストが信仰によって、彼らの心のうちに宿っておられるとき、神の戒めを愛する彼らの愛は、世がこのお方の聖なる戒めの上に積み上げる侮辱に比例してますます強くなっていく。これこそ、真の安息日が筆舌によって人々の前に提示されるべき時である。第四条の戒めとそれを守る人々が無視され軽蔑されるとき、忠実な人々は自分たちの信仰を隠すのではなく、第三天使のメッセージ、すなわち神の戒めとイエスの信仰と記された旗印を掲げることによって、エホバの律法を高めるべき時だと感じる。

イエスのうちにあるがままの真理をもっている人々は、自分たちの沈黙によってでさえ、不法の秘密の働きに支持を与えてはならない。彼らに警告の調子を響かせるのを決してやめさせてはならない。……財産と自由の危険を犯さなければ戦うことができない時が来ても、戦いはキリストの精神と柔和をもって応じなければならないことを、彼らに教えなさい。真理はイエスのうちにあるがままに維持され、支持されなければならない。富、誉れ、安楽、家庭一他のすべての物—は二の次としなければならない。真理は隠されてはならない。それは否定されたり、隠したりするのではなく、あますことなく公言し、大胆に宣布されなければならない。(世界総会日誌 1891 年 4 月 13 日)

起きて、光を放つ

「起きよ、光を放て。あなたの光が臨み、主の栄光があなたの上にのぼったから。見よ、暗きは地をおおい、やみはもろもろの民をおおう。しかし、あなたの上には主が朝日のごとくのぼられ、主の栄光があなたの上にあらわれる。もろもろの国は、あなたの光に来、もろもろの王は、のぼるあなたの輝きに来る。」（イザヤ 60:1-3）

キリストの弟子たちは毎日の生活の中でこのお方を代表しなければならない。こうして天からの真の光がはっきりと安定した光線のうちに世に輝き出るのである。こうして、神のみ言葉を自分たちの案内また標準としない人々のうちに見られる品性とは全く違った品性が表される。神の知識は世を覆う闇と、人々を包み込むはなはだしい闇のただ中で保存されなければならない。（牧師への証 152）

シオンが起きて光を放つとき、彼女の光はもつとも行きわたり、尊い讃美と感謝の歌声が聖徒たちの集まりのうちに聞かれるようになる。小さな失望や困難についてのつぶやきや不平は止む。わたしたちが金の目薬を塗るとき、はるかかなたの栄光を見るようになる。信仰は、サタンの重い影を貫き、わたしたちの助け主がご自身の功績の香をわたしたちのために捧げておられるのを見るようになる。わたしたちがこれをありのまま、すなわち主がわたしたちに望んでおられるとおりに見るとき、神の愛の広大さと多様性の感覚に満たされる。（教会への証 6 巻 368）

兄弟姉妹がた、わたしたちは神の改心させる力と、わたしたちの心を照らす真理を必要としている。それは、わたしたちが周りの人々を真理に導くことができるためである。

わたしたちは自分自身の義務の道を求めてはこなかったであろうか。わたしたちは神の事柄に対して眠っていたのではないだろうか。わたしたちは今日覚めて、天の神と生きたつながりを得ないであろうか。今、自分たちの足を義務の道におかないであろうか。（説教と講和 2 巻 54）

もしあなたの霊に主の栄光がのぼ……つたら、この言葉はあなたに送られているのである。あなたはキリストと共に変貌の山に立ったであろうか。山のふもとにはサタンにとらわれた多くの魂がいる。彼らは自分たちを解放してくれる信仰と祈りの言葉を待ちわびているのである。（祝福の山 53）

12月23日

神の栄光の知識

「海が水でおおわれているように、地は主の栄光の知識で満たされるからである。」(ハバクク 2:14)

ああ、わたしたちは神のみ言葉を探り信じる人々、すなわち力をもって御霊の証拠のうちに「わたしたちを救いうる名は、これを別にしては、天下のだれにも与えられていない」と宣言しつつ(使徒行伝 4:12)、イエスをその神性と人性のうちに世に提示する人々を必要としている。ああ、わたしたちは今、生活と品性においてキリストを提示する信徒、このお方を世の前に御父の栄光の輝きとして掲げ、神は愛であると宣布する人を必要としている!

死につつある世があなたの前にある。そしてあなたはこの境界線の中のどこにおいてもなすべき働きを見つけることができる。しかし、あなたはキリストがそのために死なれた魂の救いのために、何をしているであろうか。神は人々が救いの良き知らせを聞くことができるように、そのみ摂理のうちに、生きた代理人がすべての地に来ることができるように備えをしてこられた。今や万事は整えられている。そして御使たちは出ていって、魂を神に引きよせることにおいてキリストに従う人々と働くことができるように、この終わりの時代のための真理を信じる人々と協力しようと待っている。

全天が人間の救いに関心をもっている。そして、働きは速やかになされ、神の御国が来て、海が水でおおわれているように、地は主の栄光の知識で満たされることができる。天の存在者たちの大きな願いは、あまりにも長く偽って伝えられ、誤解されてきた神のご品性が、敵の策略によって欺かれてきた人々の前に、正しく表されることである。そして今やキリストの御名が異教徒の間で大いなるものとなるべき時ではないだろうか。神は啓発されてきた人々が隊列に入り、悪者の拠点で精力的な戦いを始めることを求めておられる。

安息日ごとに、あなたがたの多くは、生きた説教者の声を聞いている。しかし、何人が真理を自分の実生活に持ち込む必要を感じているであろうか。何人が、光が与えられたのは他の人々に反映させることができるためであることを自覚しているであろうか。民が自分たちに任命されている働きに参加できるよう、教育する必要がある。 (ホーム・ミッショナリー 1892 年 9 月 1 日)

福音がすべての国民へ

「キリストは苦しみを受けて、三日目に死人の中からよみがえる。そして、その名によって罪のゆるしを得させる悔改めが、エルサレムからはじまって、もろもろの国民に宣べ伝えられる」(ルカ 24:46, 47)

キリストは、ご自分の弟子たちに、またご自分の御名を信じるすべての人々を伝道者を含めて、ご自分の任務をお与えになったとき、天の御座からほんのわずか数歩のところの立つておられた。……もし神の事柄に生きた経験を持っていると主張する人々が、神から命じられた通りに、任命された義務を果たしていたならば、全世界は警告を受けて、主イエスは力と大いなる栄光を伴って、わたしたちの世に来られたはずであった。

神はご自分が世を裁かれる日を定められた。キリストはその日がいつ来るのかを教えて言われる、「そしてこの御国の福音は、……あかしをするために、全世界に宣べ伝えられるであろう。そしてそれから最後が来るのである」(マタイ 24:14)。サタンは、人々の理解力を盲目にし、キリストに従うと公言する人々に自分たちの重い責任をなおざりにさせ、はじめの愛を失わせるような方法で働いている。彼は、頑なで利己的で悪魔的な精神が、キリストがそのために死なれた魂を愛してきた多くの人々をとらえるような方法で働いてきた。彼らは神の器としてさまざまな方法で働くことができたはずであった。彼らは戸別訪問をし、理解力の暗くなっている人々に聖書を開いてみせることができたはずであった。神の御使たちは彼らの近くにいて、命の水に渴いている人々の心に印象を与えるはずであった。働き人たちが神のお与えになった光を放とうと努めるとき、神は彼らに聖霊を吹き込まれるはずであった。神の栄光だけに目を留めて働く人は、光を与えるときにますます光が増し加わる。彼は魂の価値を認めて悟り、改心していない魂との接触は、彼に神聖な祭壇で自分の芯に灯させ、自分の同胞にその光を持っていかせる。神は按手を受けていなくても、もっともいやしい人をお用いになる。すべての人はイエスのみ声と戸をたたく音に心を開きなさい。すべての人が天の万軍の前で働くように、主は長い間、伝道精神が教会の中に行きわたるのを待ってこられた。(ホーム・ミッションナリー 1896 年 8 月 1 日)

12月25日

すべての人の責任

「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ」(マルコ 16:15)

すべての改心した魂に話すべき働きがある。わたしたちは惜しみなく恵みを与えるために、恵みを受けるべきである。わたしたちは自己否定と自己犠牲の働きにおいて、輝く明けの明星からの光を降り注ぐために、キリストがご自身の生涯とご品性においてわたしたちにお与えになった模範に従い、それを輝かせるべきである。わたしたちは、多くの実を結ぶことができるように「根」から栄養を受けるべきである。神聖な招きを聞いたすべての魂は、丘や谷にメッセージをこだまさせ、接触する人々に「来たれ」と言わなければならない。改心の瞬間から、キリストを受け入れる人々は、世の光となるはずである。彼らは輝く明けの明星の栄光を反映させるのである。イエスは教会に、彼らのご自分の兄弟であり、神と働く共労者としてご自分と一つになるべきことを印象づけようとしておられる。彼らは人類の救いのために同胞となるべきである。キリストはご自分に与えられてきた働きとは非常に異なる働きを諸教会に期待しておられる。……

真にキリストに従う人々は兄弟として愛し、地の塩であり、世の光である。すべての真の信者は、明星からの光線をとらえ、その光を闇に座している人々に伝える。彼らは自分自身の近隣で闇の中に輝くばかりではなく、教会としてかなたの地方に出ていく。主はすべての人が自分の義務を果たすよう期待しておられる。教会に連なるすべての人は、キリストと一つになり、明星からの光線を放ち、世の光となるべきである。キリストとその民は、世の救いという偉大な働きにおいて共労者となるべきである。

諸教会は、まったく教育されるべき通りに教育されてこなかった。彼らは祈り、神を礼拝するために集まる人々に聖書を開くために、牧師に頼るよう教育されてきた。神は民が神のみ声を聞き、ご主人のために働きに出ていくことを望んでおられる。福音を宣布するために按手を受けていない何千もの人が働くようになる。(ホーム・ミッショナリー 1896 年 8 月 1 日)

弟子たちの時代が繰り返される

「弟子たちは出て行って、至る所で福音を宣べ伝えた。主も彼らと共に働き」(マルコ 16:20)

多くの働き人は自分の役割を果たし、戸別訪問の働きをし、家庭の中で聖書研究をすべきである。彼らは自分たちのキリストのみ旨への従順によって、恵みのうちに成長していることを示すべきである。こうして、彼らは豊かな経験を得るようになる。信仰のうちに彼らがキリストのみ言葉を受け、信じ、従うとき、聖霊の力が彼らの生涯の働きのうちに見られるようになる。熱烈で熱心な努力が見られるようになる。愛によって働き魂を清める信仰がいだかれる。御霊の実が生活に見られるようになる。

キリストは世の光であられる。このお方に従う人々は、闇のうちに歩む言葉なく、命の光を持つ。……キリストを眺めなさい。このお方を眺めることによって、心と思いと品性が神のみ旨に一致する。

すべての人はわたしたちの伝道事業が与えることのできる教えを必要としている。伝道事業が確立されるように導いたのと同じ御霊の力によってあなたの働きを継続しなさい。聖書を開くことによって、祈ることによって、信仰を働かせることによって、主の方法に人々を教育しなさい。そうすれば岩なるキリスト・イエスの上に築かれた教会が建てられるようになる。

働きは真の単純さのうちに勧められなければならない。神は「わたしはあなたへの励ましの言葉がある」と言われる。主は、諸々の大都市にバアルにひざをかめめない多くの尊い魂を、また知らずにバアルを拝んできた人々を持っておられる。キリストを道として、真理として、命としてみることができるよう、これらの人々に真理の光が照らされなければならない。

謙遜のうちにあなたの働きを進めなさい。決してキリストの福音の単純さを越えて上つてはならない。見せびらかしの技能によってではなく、罪を許される贖い主、キリストを掲げることによって、あなたは魂の獲得における成功を見るようになる。あなたが謙遜と心の低さのうちに働くとき、このお方はご自身をあなたにあらわして下さる。(教会への証 9 巻 141, 142)

ああ、あなたがペンテコステの日の後の弟子たちのように、出て行くことができるように、そうすれば、あなたの証は生きた響きとなり、魂が神に改心するようになる。(ビュー・アノド・ヘラルド 1890 年 3 月 11 日)

12月27日

厳粛な力強いメッセージ

「だから、あなたがたが暗やみで言ったことは、なんでもみな明るみで聞かれ、密室で耳にささやいたことは、屋根の上で言いひろめられるであろう。そこでわたしの友であるあなたがたに言うが、からだを殺しても、そのあとでそれ以上なにもできない者どもを恐れるな。恐るべき者がだれであるか、教えてあげよう。殺したあとで、更に地獄に投げ込む権威のあるかたを恐れなさい。そうだ、あなたがたに言うておくが、そのかたを恐れなさい。」(ルカ 12:3-5)

メッセージを広めることに反対する断固とした努力がなされるであろうが、わたしたちは模範であられるイエスが、落胆することもくじけることもなかったことを覚えていなければならない。このお方の働き方が、わたしたちの働き方でなければならない。このお方はためらうことも、小言を言われることもなかったが、神から遣わされた教師として、人に権威をもってお教えになった(ホーム・ミッションリー 1896年8月1日)

大都市における働きは、わざとらしい演技のような方法ではなく、キリストの方法に従ってなされなければならない。神に栄光を帰すのは、わざとらしい演技ではなく、キリストの愛における真理の提示である。

天の方法よりもむしろ世の方法に従った前置きによって、真理の尊厳や印象を奪ってはならない。あなたの聴衆に、集会を開いているのは彼らの感覚を音楽や他のことで魅了するためではなく、真理をその厳粛さのうちに説くためであることを理解させなさい。それは真理が彼らに警告としてのぞみ、自己放縦という死のような眠りから目覚めさせるためである。鋭いもろ刃のつるぎのように、道を切り開くのは、率直な真理である。とがと罪のうちに死んでいる者たちを目覚めさせるのは、これである。

男女を偶像礼拝と自己放縦から救うためにご自分の命をお与えになったお方は、他の人々に福音を提示する働きに取りかかるすべての人が従うべき模範を残された。この時代のための神の僕たちは、宣布すべき最も厳粛な真理を与えられてきた。そして彼らの行動と方法と計画は、自分たちのメッセージの重要性に比例したものでなければならない。もしあなたがキリストの方法でみ言葉を提示するならば、あなたの聴衆は、あなたの教える真理に深い感銘を受ける。彼らに、これこそ生ける神のみ言葉であるということを確認させる。(教会への証 9巻 142, 143)

世界的な範囲

「主なるわたしは正義をもってあなたを召した。わたしはあなたの手をとり、あなたを守った。わたしはあなたを民の契約とし、もろもろの国びとの光として与え、盲人の目を開き、囚人を地下の獄屋から出し、暗きに座する者を獄屋から出させる。」
(イザヤ 42:6, 7)

終りの時代における地上の神のみ働きは、キリストがこの世にもたらされた光を反射することである。この光は各時代のはなはだしい闇を散らさなければならぬ。異教の闇の中にいる男女は、かつて同じような無知の状態にいたが、神のみ言葉の真理の知識を受けた人々によって、手が差し伸べられるべきである。これらの異教国家は、神の知識の中で自分たちに与えられる教えを熱心に受け入れるのである。

神にとって非常に尊いのは、地上におけるご自分のみ働きである。キリストと天使たちはそれを毎瞬見守っておられる。キリストの再臨が近づくにつれ、ますますさらに伝道の働きはわたしたちの努力を要する。神の恵みの新たにする力についてのメッセージは、すべての国々や地方に伝えられ、ついには、世界を取り囲むようになる。印されるようになる人々の数のうちには、あらゆる国民、部族、国語、民族から来た人々がいるであろう。すべての国から、神と小羊のみ座の前に立って、「救は、御座にいますわれらの神と小羊からきたる」と叫ぶ男女が集められることになる(黙示録 7:10)。しかし、この働きがなしとげられる前に、わたしたちはこの自分自身の国で、わたしたちの心に聖霊の働きを経験しなければならない。(両親・教師・生徒への勧告 531, 532)

わたしたちはキリストのうちに宿っているであろうか、そしてこのお方と一つであろうか。わたしたちが担っているメッセージは世界的である。それはあらゆる国民、国語、民族に伝えられなければならない。主はわたしたちのうちだれ一人として、このメッセージの重要性に見合った方法で人々に提示するための力と恵みをお与えにならないうちに、このメッセージを伝えに出て行くようにと要求なさることはない。今日、わたしたちの大問題は、わたしたちがこの厳粛な真理のメッセージを、その重要性に見合った方法で伝えているかである。(サイン・オブ・ザ・タイムズ 1885 年 10 月 15 日)

忠実な新安息日遵守者

「また主に連なり、主に仕え、主の名を愛し、そのしもべとなり、すべて安息日を守って、これを汚さず、わが契約を堅く守る異邦人は——わたしはこれをわが聖なる山にこさせ、わが祈の家のうちで楽しませる」(イザヤ 56:6, 7)

わたしたちは真理を、すなわちイエスのうちにあるがままの真理全体を知りたいのである。いかなる点においても間違いをいだいているわけにはいかない。自分たちの立場をしっかりと真理の上におく者は、何が苦悩で迫害であるかを知るようになる。現代において、それが何かを経験的に知っている人はほとんどいない。彼らは自分たちが困難な時を経ていると思うが、単に神が自らのうちに根をもっているかを調べようと試しておられるだけである。このお方はエデンでアダムとエバを試されたように、彼らのご自分に従うかどうかを試される。

ある人は「まあ、もし都合が合えば安息日を守りますが、そうでなければ、それに付随する十字架はあまりにも大きすぎます」と言う。パウロは、「わたし自身には、わたしたちの主イエス・キリストの十字架以外に、誇とするものは、断じてあつてはならない。この十字架につけられて、この世はわたしに対して死に、わたしもこの世に対して死んでしまったのである」と言っている(ガラテヤ 6:14)。ここに二重の十字架がある。良心的なクリスチャンが聖書の真理の上に自分の立場を取ると、いつでもそれを受け入れることを拒み、世を選ぶ人々がいる。妻が真理の側を選ぶと、夫がそれに反対するかもしれない。ここでただちに試練、すなわち信仰と感情の分離という試練がおとずれる。わたしたちはその妻に、「あなたは夫が安息日を守らないのですから、別れるべきです」と言うのであろうか。まったくそうではない。もし彼女が真理を受け入れる前に忠実な妻であったならば、そしてもしキリストがそのために死なれた人々が自分の友人であることを認めるならば、彼女は真理を受け入れた後にはさらに大きな忠誠をもって、自分の義務を果たそうと努めるのである。こうして可能であれば彼らが光を見るようにと導かれることができるためである。「しかし、信じている妻は、夫の不信仰ゆえに、自分の義務についての確信を明け渡すべきではないのですか」と尋ねる。決してそうではない。キリストが彼女の主であり、主人だからである。彼女は自分に課された高い天からの要求をわきに捨ててはできない。信じる夫や子供の場合も同じである。……もしわたしたちが地上におけるキリストの使命と、何がわたしたちの働きであるかについて正しい観念をもっているなら、わたしたちは少数だからといって、落胆することはない。(ヒストリカル・スケッチ 232)

わたしたちはこの世代を 準備しているであろうか

「そしてこの御国の福音は、すべての民に対してあかしをするために、全世界に宣べ伝えられるであろう。そしてそれから最後が来るのである。」(マタイ 24:14)

「被造物全体が、……共にうめき共に産みの苦しみを続けている」とき(ローマ 8:26, 22)、限りない天父のみ心は同情に痛むのである。この世界は広いラザロの家(注・貧しい病人の収容所)のようなもので、われわれはその悲惨な光景を心に思うことすら苦痛である。その現実の姿をみつめるとき、重荷はあまりに大きいであろう。しかし神はそのすべてを感じておられるのである。神は、罪とその結果を滅ぼすために、最愛のひとり子をあたえ、み子との協力によってこの悲惨な光景を終わらせる能力をわれわれにお与えになっている。〔マタイ 24:14 引用〕。

「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ」(マルコ 16:15)とは、キリストに従う者にあたえられる命令である。だれでもみな主義通りの伝道者や宣教師になるように要求されているというのではない。それはわれわれがみなキリストと共に働く者となって「よろこびのおとずれ」を同胞に伝えなくてはならないことを意味している。偉い人にも、凡庸な人にも、学問のある者にも無知な者にも、老人にも青年にも、すべての人にこの命令は与えられているのである。

このご命令を念頭におくとき、われわれはむすこや娘たちを、世間並みのりっぱな生活、名目だけのクリスチャンでキリストの犠牲に欠けた生活、真実のキリストから「あなたがたを全く知らない」との宣告をくだされるような生活—そうした生活のために教育すべきであろうか。

幾千幾万の人々がこういう教育をしている。彼らは、一方では福音の精神を拒みながら、子供たちのために福音の恵みを確保しようとする。しかしそれは不可能である。奉仕においてキリストと交わる特権をしりぞける者はキリストと共に栄光にあずかる資格をあたえる唯一の教育をしりぞけているのである。彼らはこの世において品性に力ととうさをあたえる教育をしりぞけているのである。子供たちのためにキリストの十字架を拒んだために、彼らを神と人類との敵に引き渡し、気がついたときにはもう手遅れになっている場合が少なくない。彼らには来世のためばかりでなく現世のためにも破滅のらく印がおされる。彼らは誘惑に敗北する。彼らは成長して世の災いとなり、親の悲しみや恥となる。(教育 312, 313)

12月31日

小羊の花嫁の準備が できていなければならない

「わたしたちは喜び楽しみ、神をあがめまつろう。小羊の婚姻の時がきて、花嫁はその用意をしたからである。彼女は、光り輝く、汚れのない麻布の衣を着ることを許された。この麻布の衣は、聖徒たちの正しい行い（義）である。」（黙示録 19:7, 8）

クリスチャンであると主張する人々は、自分自身の外から、また自分を越えた力を絶えず必要としている。彼らはたえず祈って見張り、神の保護のもとに自分を置く必要がある。さもないと彼らは敵に打ち負かされる。クリスチャンは主人に対する僕のように、また女主人に対するはしためのように、「主よ、わたしに何をおさせになりたいのですか」と言って、神を見なければならない（使徒行伝 9:6）。神の僕は、神に栄光を帰すような方法で、自分の能力を用いなければならない。彼が自分自身を神の御霊の支配に明け渡すとき、彼は新たにされ、キリストのみかたちに変えられる。彼は自分の愛情を神にお捧げし、啓発され、強められ、聖化され、そして世への光の通路となるのである（ビュー・アンド・ヘラルド 1891年2月17日）

救い主がご自分の来臨の約束を与えて下さってから、1800年以上が過ぎた。何世紀も通じて、このお方のみ言葉はこのお方の忠実な人々の心を勇気で満たしてきた。約束はまだ成就しておらず、命の与え主のみ声はまだ眠っている聖徒をその墓から呼び出していない。しかし、それでも、語られた言葉の確かさは少しも減じていない。神はご自分の時に、そのみ言葉を成就して下さい。今ここでだれかが弱り果てるのであろうか。わたしたちは永遠の世界に近づくときに、信仰を手放してしまうのであろうか。だれかが、都はるか彼方だと言うのであろうか。否、否。もう少しすれば、わたしたちは王をその麗しさのうちに見るようになる。もう少しすれば、このお方はわたしたちの目からすべての涙を拭いにとって下さる。もう少しすれば、このお方はわたしたちを「その栄光のまえに傷なき者として」提示し、「喜びのうちに立たせて下さる」（ユダ 24）。

全天は、神の報復の日、シオンの解放の日の準備に携わり、わきたっている。遅れた時はほとんど終わろうとしている。長い間、より良い地を求めてきた旅人と寄留者は、ほとんど家に着いている。（ビュー・アンド・ヘラルド 1913年11月13日）

Good Way Series 研究 2-4



教会と残りの民 (IV)

1. 教会における分離

「イエスを愛し、またそのために死なれた魂を愛する人々は平和を作りだすように努める。しかし彼らは不一致を避けようとして真理を曲げたり、原則を犠牲にしないように注意すべきである。真の兄弟関係は原則を妥協することによって維持されることは決してない。…あらゆる意見の不一致を避けるために互いに譲歩して得られる平和と一致は、無価値なのである」(レビ・アト・ヘラルド 1900年1月16日)。

「われわれの働きは間もなく終わる。われわれは今、神の方法に従って働く立場に自らを置くべきである。われわれは神のみ旨を見分けるのに思慮のない人々と自らを結びつけてはならない。われわれは彼らの間から出て、分離すべきである」(特別な証シリーズ B NO.3, 第3版44)。

「この終わりの時代に、奇妙な誤謬と人間の作った理論が起こっているが、これらは粉みじんに打ち壊されると、神は宣言しておられる。〔イザヤ 8:11-16 引用〕。

預言者のこの言葉の中に、わたしたちはサタンが働いているのが、世俗の者たち、すなわち、自分たちの前に神への恐れと愛がない人々ばかりでなく、キリストを信じると告白する人々に対しても活動していることを認める。ここにはっきりと、かつては一致していた一つの群れから形成された二つの個別の団体が明示されている。これらの団体の一つの人々は、神のみ旨に逆らっている。彼らは忠実で真実な側から身を引き、今は神の御霊の警告に対抗している。主は、従う者には聖所となられる。しかし、イスラエルの二つの家には妨げの石、つまずきの岩となり、エルサレムの住民には網となり、わなとなる。キリストを信じると告白する者はみなサタンによって試みられるであろう。『多くの者はこれにつまず

き、かつ倒れ、破られ、わなにかけられ』(この言葉に注意して下さい)、『捕らえられる』。神のみ言葉を知る彼らのすべての知識、すべての彼らの光、そして聖書の真理の保管者としての彼らの立場にもかかわらず、多くの者はこれにつまずき、かつ倒れ、破られ、わなにかけられ、捕らえられる。この群れの滅亡は確実である。その後、次の命令が与えられている、『あかしを一つにまとめ、教えをわが弟子たちのうちに封じておこう』。〔イザヤ 8:17-20 引用〕。

この警告はわれわれが今住んでいるこの時代のために与えられている。テモテ第二 3 章を注意深く読みなさい。この章は(イザヤによって言われた)多くの者、つまり信仰から離れていった人々に言及している」(レ・ユー・ア・ド・ハラルド 1907 年 7 月 18 日)。

悔い改めない人々について『エフライムは偶像に結びつらなつた。そのなすにまかせよ』と言われなければならない時が来る。教会は自分がどこから落ちたかわかるであろうか」(レ・ユー・ア・ド・ハラルド 1890 年 12 月 23 日)。

「ああ、すべての者が悔い改めて初めのわざを行えばよいのだが。教会がこのように行うとき、彼らは神を最高に愛し、自分を愛するように隣人を愛するであろう。エフライムはユダをねたまず、ユダはエフライムを悩ませないであろう。その時不一致はいやされ、イスラエルの境界線の中で容赦のない戦いの声はもはや聞かれることはないであろう」(エレキッド・メッセージ 1 巻 385)。

この最後の記述から、このふるいの段階は、生きている聖徒たちが印を押される前、すなわち、み働きが閉じる前、また変化(悔い改めと改心)には遅すぎるようになる前に起こることが明白です。ですから、このふるいは日曜休業令、すなわち最後のテストの前に起こります。また、このふるいは、改心していない教会の外の人々をふるうのではなく、むしろ、教会を二つの別の団体に分けるということもまた明白なのです。

この記述(エレキッド・メッセージ 1 巻 385)で、「…する時」という言葉は、明らかに条件のことです。しばしばホワイト姉妹は、「時(when)」と「もし(if)」を言い換えてできるように使用しています。ですから、これは必然的に起こることを予告したものではありません。この言葉はイスラエルの二つの家が最終的には互いに和解すると述べているものではありません。これが述べているのは、もしアドベンチスト教会が実際に自分の進路を変えようと決定するなら、何が起こることになるかを示しているだけなのです(教会への証 5 巻 217)。それはパウロが、もしユダヤ人が実際にキリストを受け入れることを決定するなら、どんなことが起

こるはずであるかを示した宣言（ローマ 11:17-23）と同様です。しかし、ローマ 11:23 の「もし」という条件に注意しましょう。

預言の霊はふるいについてのいくつかの原因を指摘しています。これからその事について考えていきます。

a) 神のメッセージの拒絶

イザヤ 58:1 と黙示録 3:18、19 に基づいたメッセージは、アドベンチストの人々に伝えられるものです。ラオデキヤの御使（牧者）がラオデキヤへのメッセージを受ける対象です。ですから、それ以外のだれかがこのメッセージを担わなければなりません。E.G. ホワイトは、次のように述べています。

「主は、世とご自分の民への真理のメッセージを担う人々を起こされるであろう。もし責任のある立場に立っている人々が神のみ摂理が開かれる中を、この時代のためのしかるべきメッセージを担って前進しないなら、警告のみ言葉は、自分の信任に対して忠実な別の人々に与えられるであろう。若いクリスチャンでさえも、『大いに呼ばわって声を借し』まないよう選ばれるであろう」（安息日学校の働きに関する証 46）。

「イザヤ 58 章は注意深く祈りをもって研究すべきである。ここに神の使命者たちに率直で力強いメッセージが与えられている。『大いに呼ばわって声を惜しむな。あなたの声をラッパのようにあげ、わが民にそのとがを告げ、ヤコブの家にその罪を告げ示せ』。このメッセージが与えられるべきなのは、教会員である。すなわち、自分たちは義人であり、神に近づくことを喜んでいていると思っている人々に与えられなければならない。…この章に描かれている人々は神の恩寵を受けていないことを自覚している。しかし、神ご自身の方法に従ってその恩寵を求めるかわりに、彼らは神との闘いに入る。彼らは、われわれが多くの儀式を行っているのに、なぜ主はわれわれを特別に認めて下さらないのであろうかと尋ねる。…これらの礼拝者たちの守る断食は、ただの見せかけであり、謙遜のまがいものである。彼らは品性のあらゆる不快な特性をそのまま保持している。彼らの心は汚れから清められていない。彼らは神の恵みのやわらげる雨を受けてこなかった。彼らは聖霊に欠乏し、そのかんばしい感化の香りに欠けている。彼らは、悔い改めも、愛によって動く信仰も表さない。…主は彼らに確固たる譴責のメッセージをお送りになって、彼らになぜ主の恵みがおとずれないかを明白に示しておられる。…彼らはこの譴責のみ言葉を受け入れ、真の悔い改めの心を求めて祈るであろう

か。彼らはその罪を捨てて許しを求めるであろうか。彼らは天の雰囲気を自分たちの家族に、また自分たちの同胞との交わりに取り入れるであろうか。…永遠の重要性を持っているメッセージは近いところにいる者にも、はるかに遠くにいる者にも伝えられなければならない。神の使者たちは、メッセージを聞いた後に、その通りであるかを知るために聖書を調べることを拒む人々とは、何の同盟も結ばないようにしなさい。神の僕たちはこのお方がお命じになった通りに、悪を取り扱わなければならない」(ビュー・アンド・ワールド 1901 年 6 月 25 日)。

「神がご自分の民に送っておられるメッセージを信じる信仰を損なうために絶えず働いている人々について、わたしは『彼らの間から出て行き、彼らと分離せよ』と語るように指示されている。兄弟たちよ、光のうちに来なさい。そして、他の人々を道であり、真理であり、命であるお方に導きなさい。信仰のうちに神の御霊の導きに従う者たちは、どこに自分たちの危険があるかを認め、断固として正しい方向に進むであろう」(ビュー・アンド・ワールド 1908 年 7 月 23 日)。

「神の民の間にふるいがあるであろう。…それは提示された真理を拒む結果である」(エレキッド・メッセージ 2 巻 13)。

「わたしは、わたしが見たふるいの意味をたずねた。そして、それはラオデキヤ教会へのまことの証人の勧告が生じさせた率直なあかしによるものであることを、わたしは示された」(初代文集 438)。

ラオデキヤへのメッセージ、すなわち「神の民を目覚めさせ、彼らに自分たちの背信を認めさせ、彼らを熱心な悔い改めに導くよう計画され、こうして、彼らがイエスのご臨在をもって恩寵を受け、第三天使の大いなる叫びにふさわしい者とされるためである」メッセージは(教会への証 1 巻 186)、アドベンチストの人々を二つの別の団体に分けるのです。…この預言されたふるいに関して、時という要素は、非常に重要です。まことの証人の勧告を拒むことによって生じたふるいは、本物の準備(教会への証 1 巻 186, 187)をもたらすためのものであり、後の雨の下で、つまり(日曜休業令によって生じる)最後のテストの下で伝えられることはあり得ません。なぜなら、『その時では、魂の必要を満たすのにはおそすぎる』からです(キリストの実物教訓 389)。ラオデキヤへのメッセージ(黙示録 3:18, 19)は、ふるいと改革を起こすものであり、後の雨が注ぎ出される前にその働きをなさなければならないのです。(初代文集 149、教会への証 3 巻 270 をお読みください)

ておられました。そして、ご自分に向かって「彼がこれを喜んでくれることをねがう。彼を幸せにすることを願う。彼を喜ばせるためにわたしのしたすべてのことに気づき、こんどはわたしを愛するようにと願う」。

ついに、すべてが整い、神が世界をパラダイスにするために考えられるすべてのことをなし終えました。このお方は言われました、

「われわれのかたちに、われわれにかたどって人を造り、これに海の魚と、空の鳥と、家畜と、地のすべての獣と、地のすべての這うものとを治めさせよう」。

「神は自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された」。

「神のかたちに！」神さまのようにです。なんとすばらしい、非常にすばらしいことでしょう！

ベイクド豆乳ヨーグルトケーキ

■ 材料

【ボトム】

グラノーラ	60g
ココナッツオイル（または好みのオイル）	30g

【フィリング】

豆乳ヨーグルト	400g（水切り後 200g）	
きび砂糖（またはメープルシロップ）	80 ～ 100g	
アーモンドペースト（フードプロセッサーにかけたもの）	大さじ 2	
甘酒（麹）	50g	
白味噌	大さじ 1	
レモン汁	大さじ 1	
くず粉	大さじ 3	
バニラエッセンス	少々	

■ 作り方

1. グラノーラをジップ袋等に入れ、麺棒などで上からつぶして細かくくだきます。
2. 1にココナッツオイルを混ぜて、よくなじませたら型に敷きつめ、冷蔵庫で冷やしておきます。
3. 豆乳ヨーグルトはペーパータオルを敷いたザルにあげて、一晩しっかり水切りします。（カサが半分ぐらいになるまで。）
4. フィリングの材料をすべてフードプロセッサに入れて、なめらかになるまで攪拌します。
5. オーブンを160度に予熱する。4を型に流して平らにし、40～45分焼きます。
6. ケーキの中央に竹串をさしてみ、ついてこなければ焼き上がりです。
7. 冷めたらラップをかぶせ、型のまま冷蔵庫で丸1日冷やし、よくなじませます。

教会プログラム (毎週土曜日)

安息日学校 : 9:30-10:45 (公開放送)

礼拝説教 : 11:00-12:00 (公開放送)

午後の聖書研究 : 14:00-15:00

【公開放送】 <http://www.4angels.jp>



聖書通信講座

※無料聖書通信講座を用意しております。

□聖所真理



お申込先 : 〒350-1391 埼玉県狭山郵便局私書箱 13 号「福音の宝」係
是非お申し込み下さい。

書籍

【永遠の真理】聖書と証の書のみに基づいた毎朝のよみもの。



【安息日聖書教科】は、他のコメントを一切加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。



パート1 第15話

神が人を造られる(1)

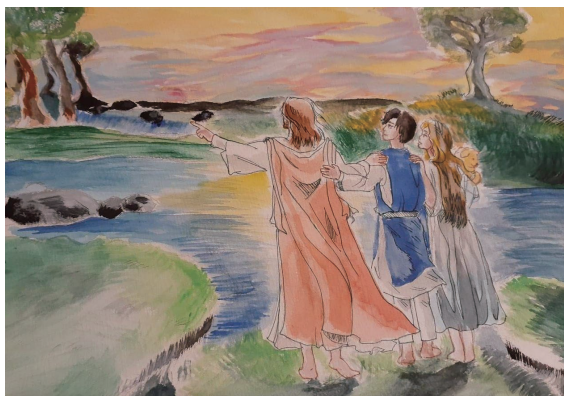
あなたはお母さんのためにすばらしいサプライズを計画したことがありますか？もしかしたら、お誕生日かもしれませんね。たしかにあると思います。何かをお店で買ったか、あるいはぜんぶ自分で作ったことでしょう。もしかしたら、ケーキ、あるいは、あめ、絵、もしかしたら手ぬいで作ったものかもしれませんね。それが何であっても、あなたはそれをお母さんに渡す日が待ち遠しかったことでしょう。お母さんが近づいて来たとき、どれほどわくわくしたことでしょう！

創造の週の第6日めに神さまの心の中には、このわくわくに似た同じような気持ちがあったにちがいありません。なぜなら、その日も誕生日になるはずでしたし、そのことを神さまがご存じだったからです。

この週をつうじて、神さまはプレゼントの用意をしてくられました。なんとというプレゼントでしょう！全世界です！美しい、美しい世界です。宝でいっぱいです—金、銀そして宝石。食べ物でいっぱいの世界です—ナッツ、くだもの、穀物、そして純粋なきらめくお水。美しいものでいっぱいの世界です—木々、シダ、花々。おどろくばかりの被造物でいっぱいの世界です—鳥、魚、あらゆる種類や色の動物、研究し、遊び、笑うような被造物。

だれかに贈るのになんとすばらしい贈り物でしょうか！

そうです、そして神さまがこのプレゼントを用意なさるときにずっと、このお方はこのだれかのことを考え



(43 ページに続く)